



# 東海支部報

日本山岳会東海支部

No. 165 April. 1. 2021

発行 公益社団法人  
日本山岳会東海支部  
〒460-0014 名古屋市中区富士見町8-8 OMビル  
電話：052-332-8363 FAX：052-322-7924  
郵便口座 00800-5-13749 「日本山岳会東海支部」  
銀行口座 三菱UFJ銀行 覚王山支店  
普通1222073 「日本山岳会東海支部」  
編集 星 一男

印刷 (株) 浅井隆文社



第17回東海岳人写真展から『天空の樂園』鈴木慎吾氏(支部員) 本文P2参照

## 目次

○「第17回東海岳人写真展」		○リレーエッセイ⑫	田中 進	13
開催報告	坂本 孝	2 ○随想すばらしき岳兄たち(2)	杉浦吉治	15
○山岳古道調査事業と		○60山ラリー経過報告	近藤厚史	16
東海支部	西山秀夫	3 ○60山ラリー登山記	石井 仁	17
○東海支部俳壇		○支部員だより靴底剥がれ修理	和田豊司	18
○2020年冬山フェスタ報告	今津英一朗	4 ○委員会報告 山行		20
○コロナ禍での登山教室	服部康宏	5 ○支部友コーナー	金谷正起	22
○トピックス		6 ○会務報告	今津英一朗	23
○東海岳人列伝⑱	西山秀夫	7 ○ルーム日誌・会員異動	今津英一朗	26
○東海支部蔵書からの一冊㉔	石田文男	11 ○INFORMATION		27
○同好会コーナー スケッチ	石井 仁	12 ○編集後記	星 一男	

## 「第17回東海岳人写真展」開催報告

写真展実行委員会 坂本 孝

待望の第17回東海岳人写真展「山と自然のパフォーマンス」を2月2日から7日までの6日間、開催する運びとなりました。

昨年3月中旬に開催予定をしていました写真展は、ご承知のように百年に一度と言われるような新型のコロナウイルス感染症対策で止む無く延期となり、会員の皆様方には大変ご迷惑をお掛けすることになり誠に申し訳ありませんでした。今回、未だにコロナ禍の中ではありましたが、開催前に名古屋市民ギャラリー栄側とともに感染症対策を講じました。受付には、アクリル板パーテーション設置や来場者用消毒液、デジタル体温計等の無償提供を頂き、来場者受付もマスク着用は勿論のことフェイスガード着用等で対応。また、筆記具も使用ごとに消毒するなどして十分な感染症対策をとりました。

支部員、支部友会員63名による78点の作品(海外30点、国内48点)を展示しました。

展示された作品は、国内、海外の山岳のみならず、高山植物や自然の風景、登山者の姿など、支部員の活発な活動を反映して幅広い題材を対象とした生き生きとした写真ばかりでした。

期間中には、名古屋市内をはじめ愛知県内の各市や岐阜県内などから一般市民の方々952名が会場を訪れ、展示の作品を鑑賞され自然

の美しさや登山の楽しさを感じて頂きました。特にこの時期ホームにいることが多かったので、皆さん一様に写真展開催に対して、好意的であり良かったと思えました。

多数の応募を頂き、例年であれば出展料の一部を出展者にご返却するところですが延期に伴いDMハガキの再作成や再郵送また、延期の新聞広告掲載(中日新聞)がありましたので今回はありません。よろしくお願いたします。

次回の第18回東海岳人写真展(開催年月は現在のところ未定)に向けて、写真展実行委員



作品を鑑賞する来場者

会では、今回の経験と反省を踏まえ、さらに向上を目指して行きますので、今後ご支援ご協力をお願いします。



写真展開催を伝える中日新聞

# 日本山岳会創立 120 周年記念

## 山岳古道調査事業のあらましと東海支部

支部古道調査委員会 西山秀夫

すでに「山」で周知のとおり、日本山岳会創立120周年を記念して全国の山岳古道調査事業をはじめることになりました。

これは山中光子さんらの「塩の道」研究会の研究成果を『山岳』に投稿したことで関係者の目に留まり、記念事業に格上げされたものです。必ずしも登頂を目指すものではありませんが単なる物見遊山でもありません。ピークハントはいつしか限界がありますが古道歩きはきりが無い。それに調査は足だけでなく頭も使います。高齢者にもふさわしいと言えます。

古道調査のベースには偉人、有名人の関連が必須ですが、生活道路として無名の人の道も良いです。歴史的に歩かれたかどうかでしょう。また廃道も良いです。

西山個人が提案した古道

### 1、青森県津軽半島の算用子峠

青森県では吉田松陰が23歳の時に越えたので、みちのく松陰道として広報している。菅江真澄や松浦武一郎が蝦夷へ渡るために越えた峠である。だから菅江真澄を知らないとはるばる愛知県から旅してきたんだなあ、という興味は湧かない。春はニリンソウなどの山野草で一杯になる。しかもあまり踏まれていない。

### 2、岐阜県と福井県にまたがる蠅帽子峠

水戸の天狗党武田耕雲斎等800人が京都の徳川慶喜に会う為に馬、砲台を分解して運びながら12月に越えた官道だった。

現在はブナの疎林で踏み跡がある程度の廃道である。

敦賀まで行ったが慶喜は会わず、結果的に353人が斬首された。日本刑罰史上最悪である。明治維新は無血革命というがウソである。こんな犠牲を知ると。

### 3、長野県飯田市の久堅から遠山谷へ越える小川路峠（秋葉街道）

松濤明『風雪のビバーク』の春の遠山入りという名紀行文がある。飯田線が飯田で止まっていた時代は荷馬が通った道である。宿もあった。私も遠山谷の馬宿に泊まったことがある。松濤明の魅力は北鎌尾根での壮絶な遭難死ばかりではない。古い紀行を読んで、しみじみ味わうのも古道歩きの良さである。

メンバー入りしたら支部の5件の古道を協議して本会に提案したい。一緒に踏査したり、調べたり、書いたりする予定である。よろしくお願ひしたい。

山岳古道調査事業の詳細は日本山岳会のホームページに掲載されています。

### 東海支部俳壇

西山秀夫

11/22 (日) 若狭・駒ヶ岳登山  
冬紅葉かつてはありし峠道

駒ヶ池水鏡めく冬の水

冬木立とどこどころの赤テープ

熊撃ちの獣魂碑立つ木地師村

枳餅を食ふ朽木村なる山の幸

11/29 (日) 若狭・庄部谷山  
枯木立ブナは無数に広がりし

落ち葉踏み一步一步と山坂を

青葉山見へて嬉しき冬山路

青々と冬の海なる若狭湾

12/26 冬山フェスタ

冬山を学ぶ集ひや十二月

1/9 法多山から小笠山周回  
小笠山アカガシの冬木立かな

1/16 鳳来寺山

歯朶覆ふ山路の緑目に優し

1/25 嬭恋村のスキー宿「あいさこ」へ  
峠越ゆ嬭恋村へ凍結路

とりどりの馳走ゆたかな楢の宿

雪嶺の浅間に煙立ちにけり

これがまあキャベツ畑か雪の原

1/26 パルコール嬭恋スキーリゾート

貸切のスキー場めくパルコール

# 2020年冬山フェスタ報告

総務委員会委員長 今津英一朗

年の瀬12月26日(土)に名駅ウインクあいちの会議室で開催された。

毎年、夏山フェスタとして恒例の6月に開催されていたイベントが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となっていた。その代わりということでもないが、冬山をターゲットにしたイベントとして冬山フェスタが昨年12月に開催された。主催は夏山フェスタ実行委員会(全国山の日協議会、中部経済新聞社)である。

## 東海支部の冬山相談コーナー

東海支部は、特別協賛という立場で参加し、冬山よろず相談コーナーのブースを設け、来場者への相談、体験登山の募集などを行った。

相談担当は支部友委員が交代で行い、基礎講座の講習会を終えた来場者と山行について話し、経験を伺いながら、適切なアドバイスをした。また、希望者へ2月の体験登山へ参加を勧めた。

冬山フェスタ自体が、初めての取り組みであり、会場も夏フェスと比べ少し狭いため、夏フェスなら展示する山小屋、登山具メーカーの出展は今回なかった。

中部経済新聞社の報告によると、来場者の40%が夏フェス参加経験なし、ということで、支部の相談コーナーで話を聞く来場者の多くが、冬山経験者あるいは夏山もかなり登ってきた人達(客層)であった。



東海支部の冬山よろず相談コーナー

## 冬山登山基礎講座

今回の目玉は、朝10:00から7回に渡り開催

された「冬山基礎講座」。山岳に関わる各界からその道のプロフェッショナルが招かれ、冬山の基礎講座が行われた。

事前予約制のため、一部の講座では満席になってしまい、当日申し込みでは聴講ができない講座もあったと聞いている。(700席中505席聴講された)

東海支部に馴染みのある講師では、いつも気象予報の講師をお願いしている「ペンギンおやじ」こと、山岳防災気象予報士の大矢康裕さん(ウェザーフロンティア東海)、日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイドの増井行照さん(東海支部員)、日本山岳会常務理事の萩原浩司さん(本部会員)も講師として登壇した。



冬山登山基礎講座

写真やパワーポイントにより、講師の体験、経験がわかりやすく説明されており、中には最前列で1日中聴講している熱心な受講者もいたようである。

## 関連出展

今回、登山用具店、および各行政からも展示されていた。山梨県、鳥取県、大分県などの行政も観光誘致のため展示されていた。これらの県は、いずれも過去の全国山の日イベント開催県あるいは2021年開催予定の大分県であった。

登山用具店は、夏フェスではもう少し大きい展示ブースがあり、色々なギア、装備を展示するが、今回はピッケル、アイゼン、ワカン、ヤッケなど冬山装備のみの展示となった。

某登山用具店はヒマラヤ登山に使用する装備を展示し注目を浴びていた。

## 反省および今後の課題

今回の冬山フェスタは概ね盛況のうちに終えることができた（アンケート結果：92%が大変良い、良い）。主催者側からも東海支部へ感謝の言葉をいただいた。冬山フェスタは今後も継続することが予定されている。

東海支部として、冬山相談コーナーを設けたが、客層がそれなりの人たちであることを考えると、冬山に関する専門技術を説明する機会が必要なのではという課題を残した。来場者のアンケートでは実技（ビーコン体験、テントの張り方など）を希望があり、またアプリを利用した登山、バックカントリー、スノーシューの選び方にも希望があったと言うことである。

今回のアンケートで人気NO. 1 冬山は八ヶ岳連峰ということであった。体験登山は鈴鹿を予定してもよいが、次のステップまで少しレベルを上げ、準備すると入会希望者を多く募ることができるかもしれない。相談窓口でどこまで可能なのか今後検討する。

## 次回の夏山フェスタ

夏山フェスタ(2021)は6月5,6日(土、日)が予定されている。支部員の積極的なサポートをお願いする。

## 冬山体験登山

東海支部の冬山なんでも相談コーナーで冬山体験登山を募集したところ、鈴鹿の入道ヶ岳(906m)の雪山体験山行と猿投山(629m)体験山行にそれぞれ8名と2名の応募があった。

# コロナ禍での登山学校

登山学校運営委員 服部康宏

登山学校第4期はまさに「ウィズ・コロナ」での活動となった。7月の入校式は感染症対策をおこない何とか無事終えることができたが、10月の支部友との朝明ミーティング、12月の遭難対策委員会との合同企画「冬山気象講座」が中止となってしまった。さらに年が明けて1月半ばに愛知県でも緊急事態宣言が出された後は、現地講習山行にまで支障が及んだ。

例年1～2月は、クラスごと技量に合わせた雪山カリキュラムを組んでいるが、初級と中級の各クラスは猿投山、茶臼山、鷹ノ巣山など愛知県内の山に計画を変更、八ヶ岳、大日ヶ岳を予定していた上級クラスは中止・順延となった。急遽山行計画の変更を余儀なくされた

指導員の負担も大きかったと思う。

たっぷり時間をかけることができたのは大きな収穫であった。また山頂で鍋やぜんざいを楽しんだクラスもあり、普段の学校山行では体験できないこともおこなうことができた。

コロナ禍ではさまざまなことに制約が出るが、山は逃げていかない。1日も早いコロナ禍の収束を祈りつつ、創意工夫を凝らして学校運営に向き合っていきたい。



中級クラスツェルトの張り方講習

残念ながら雪山体験はできなかったが、代わりに懸垂下降などのロープワーク、読図、ツェルトの張り方といった講習に

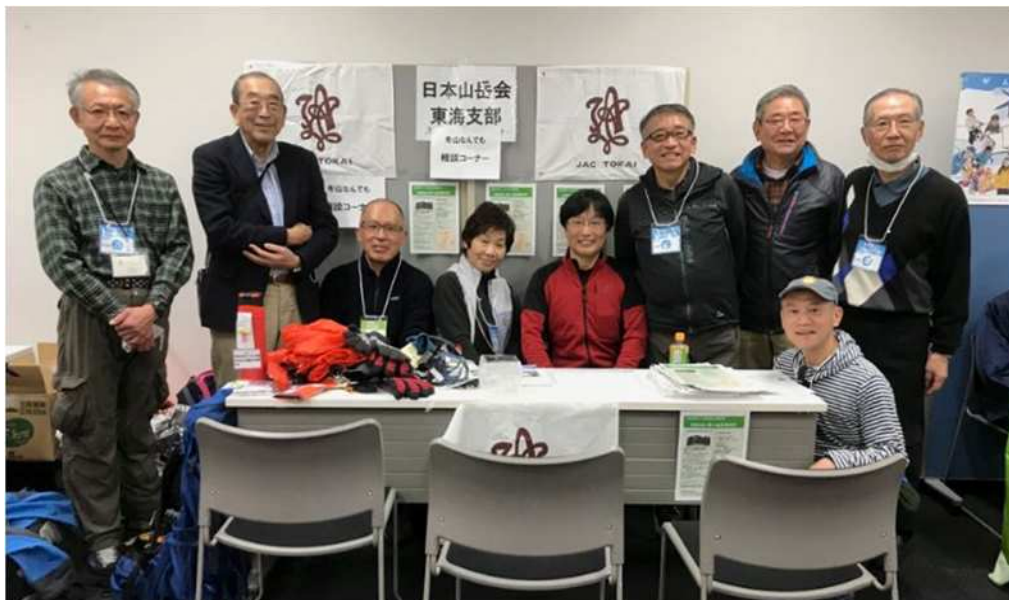


初級クラス(物見山にて)：ロープワーク講習

## TOPICS 1

### 萩原浩司氏来訪

昨年12月26日開催の冬山フェスティバル(本文参照)の講師である萩原浩司氏が、会場の東海支部のブース(冬山なんでも相談コーナー)を訪れてくれました。萩原浩司氏は、日本山岳会の常任理事、山岳専門雑誌「山と溪谷社」の編集長で、今最も人気の高い山岳タレントとしてTV出演、各種の講演などで活躍中の方です。当日の講演も満席でした。



萩原氏(中央赤ジャンパー)を囲んで

## TOPICS 2

### “猿投の森づくりの会”へ感謝の貼り紙

今年の2月末、猿投山(628m)に登った支部員のAさんから、支部報編集委員会宛に写真付きの投稿がありました。

登山道の途中の切り株の椅子に貼ってあった“猿投の森づくりの会”への感謝の貼り紙です。日付は、平成31年で3年も前ですが、同じ仲間の日頃の活動がこうした型で評価されているのは、実に嬉しいと写真と共に送ってくれました。

ご存知のように“猿投の森づくりの会”は、支部事業の一環として平成16年(2004年)支部員の橋村一豊さん(故人)の提唱で設立。主に愛知県との協定に基づき、猿投山の北面の県有林(山路の森)の整備施業を精力的に実施しています。益々のご活躍を期待します。



猿投山の切り株の椅子に防水カバー付きの貼り紙

## 東海岳人列伝(18)

### 胡蝶之夢のごとく生きた鈴木重彦

編集委員 西山秀夫

鈴木重彦の生き様を調査すると実弟を薬師遭難で失うばかりか、愛大山岳部創設者として非難も浴びた。悪夢のような青年期を過ごしたが、33歳の時、深田久弥から中央アジアへの旅行に誘われて同行し、世界史を彩る壮大なシルクロードという古道を見聞する幸運に恵まれた。後に東海支部の天山山脈遠征の顧問にもなった。単独の写真集『天山』の上梓のきっかけになった。にも関わらず、68歳で母に看取られて病死した。短い乍らも波乱に満ちた人生を何と例えて良いのか。とっさに浮かんだ言葉が胡蝶の夢だった。

胡蝶之夢も蝶のように儂い人生のたとえです。愛大遭難の悪夢と幸運な現実の織り成す波乱の生涯だった。

#### 愛大薬師遭難事件

昭和38(1962)年1月の豪雪で愛知大学山岳部13名が薬師岳で山岳遭難史上では大量の遭難死を記録した。



支部報86号の石原国利氏の追悼文から

この事故で鈴木重彦は弟俊彦(昭和16年生)を失った。痛恨の極みであっただろう。

平成4年、愛知大学同窓会設立40周年記念誌『「愛」「知」「絆」と』に「悔やまれる1本のミッテルー薬師遭難を省みてー」を寄稿した。

それまでの冬山合宿は鹿島槍周辺で行って来た。「自分たちの力で開いたルートで」、そんな登山が要望されはじめていた。その頃、学生ら現役の中にも、ヒマラヤへの夢が芽吹き始め、OB会と合同のヒマラヤ研究会が発足していた。ヒマラヤへの夢を実現するためにも、厳冬期の剣岳～穂高岳の縦走ぐらいできる実力作ろう、そんな機運が山岳会(OB, 現役会)の間に満ち始めていた。そこで本計画を具体化する方法の一つとして1月の薬師岳が選ばれたのである。剣、穂高までの間を5か所に分けて順次冬山合宿を計画し、数年後には剣～穂高縦走を実現させる」というものだった。

昭和37年12月25日に名古屋を出発。昭和38年1月2日に薬師岳から下山途中、主稜線から外れ、東南に発する尾根に迷い込み遭難。2



愛知岳連記念誌「60年のあゆみ」から

日、3日は吹雪の中でビバーク。4日主稜線に引き返す途中、11名は疲労凍死、2名は雪庇を踏み外して墜落死したと推定。遭難後、286日ぶりに2名を発見し、捜索活動に終止符が打たれた。中略

山岳遭難史上まれにみる、全員死亡事故だけに、各方面から多種にわたるご批判や、ご指導をいただいた。

遭難原因は中略、地図も磁石も彼らは持っていた。が現在地不明、視界ゼロmに近い吹雪の中で地図も磁石も装備同様どこまで使いこなす能力を持っていたかが問題である。

冬山合宿のため、彼らは荷揚げを兼ねた偵察山行を5回も行っている。以下略。

前略、彼らが冬期薬師岳で最も迷い込みやすい地点が東南稜分岐点だと気づき、1本のミッテル（標識用色布）を分岐点に立て、先頭に立つ部員がミッテルの確認を行うルールを厳守していたならば、未然に防げた事故であった。中略。われわれが捜索中、幾本かの色褪せたミッテルを見た。薬師平付近にも、岩井尾根分岐点にもあったが、東南稜分岐点には1本のミッテルも見つけることは出来なかった。

朝8時30分、薬師平でC3を設営中、日本歯科大学山岳部が通り過ぎて行った。愛大生らはその5分後に出発。計画では2隊に分けて攻める予定が日齒大に先を越されて焦ったのであろう。天気悪化の兆しもあり、全員が向かったのである。自分らが35kgのザックを担ぎ、豪雪の尾根をラッセルしてルートを開いてきたのに後続に登頂を先を越されるとの心理はよく理解できる。中略。

頑張った下級生全員に登頂の喜びを味合わせてやりたい、リーダーの情が動いたのであろう。あくまで冷静沈着でなければならないリーダーが、情と焦りに流され、弱点をさらけ出した結果であろう。中略。

登山は体力も技術も必要であるが、それ以上に強い精神力とセオリーを重視されるスポーツなのだ。

登山においては体力、技術力と並行して、瞬時の判断力がその成果を左右するといっても過言ではない。特に本遭難では精神面のもろさにその原因があったと締めくくった。

以上は少しかいつまんで転書した。



< 薬師平に向かう捜索隊 >



< 遭難死した大学生の遺体を降ろす風景 >

## 日本山岳会東海支部での活躍

1997年の会員名簿では1981年に入会（当時48歳）したことになっているが、会員番号は5224番なので再入会である。支部創立時のメンバーである高橋達雄（高橋玲司支部長の父）の番号が5221番と近い。時期も1960年1月なのでその頃に同時に入会した。支部報の前身の支部通信（1965年）には山岳写真展の開催への出品を募るお知らせがあった。現在の東海岳人写真展「山と自然のパフォーマンス」を謳う前のイベントの創始者であった。

## 登山用具店を経営

鈴木重彦は名古屋市内の御園座の近くで登山用具店「鹿島山荘」を経営していた。大好きな鹿島槍に因んだ商号がいかにも鈴木重彦らしい。実家は桑名市の富裕な家柄であった。支部報86号の石原国利氏の追悼文によれば石原氏とは水魚の交わりの交友録になっている。

おカネに不自由はしなかったが山好きが嵩じて、いわば武士の商法であった。

そのことは深田久弥『山頂の憩い』（新潮社）の中の鳳来寺山の紀行文に詳しい。デカさんともう1人ジャコさんが出てくる。デカさ



んこと鈴木重彦は「鹿島山荘」を経営、ジャコさんこと吹原さんは東区で「JAC」という山の店を経営していたのだった。



＜岳人に掲載された広告＞

速で行き後はR1で豊橋市を経て鳳来寺山まで一日がかりで行った。そして参道の石段が始まる入り口近くに立つ「雲竜荘」という旅館に泊まって登山を果たしている。衰勢著しい門前町の中であって雲竜荘は山菜料理をウリに今も頑張っている。

### 深田久弥との交友関係

深田久弥と鈴木重彦の親交のきっかけと東海支部のかかわりの経緯はおそらく朝日新聞の支援で行われたシルクロード遠征が契機と思う。真相を知っている読者がいたらご教示願いたい。朝日新聞名古屋本社が開催した登山教室の講師を担うほどに深い関係があった。

### 名うての山岳写真家として

東海支部が主催する恒例のイベントの中でも山岳写真展は好評で多数の見学者を集めて来た。ただの珍しい風景の山岳写真ではなく、構成美や技術的なコンテストでもなく、パフォーマンスを謳うところに他の写真展の追随を許さない大きな特長がある。

つまり手振れがあろうと、まさに山に登っているその瞬間の緊張感を見てくださいという主張である。

態度がデカイからデカさんと呼ばれていた面もあるが実はとても繊細であった。およそ

この中でデカさんとジャコさんは仲が良く、山へ行くぞ、と決まったら店のことは放りっぱなしと書いている。2人とも店は生活の手段ではなかったのである。

昭和46(1969)年の鳳来寺山行きにも当然同行し、当時は岡崎インターまで高速



＜『天山』から馬上の鈴木重彦＞

7000枚の写真から700枚をえりすぐって写真集『天山』（東京新聞出版局）を上梓した。

その中に馬上の鈴木、深田の姿があり、1966年にロマンあふれる中央アジア遠征を共にしたのである。海外しかも中央アジア遠征は山岳写真家の鈴木重彦と文人の深田久弥の夢の織りなす作品集であろうか。日中国交正常化の6年前なので、パミール以西の限られた地域にとどまった。

深田久弥・長沢和俊『シルクロード 過去と現在』（1968年、白水社）のまえがきで、深田は「シルクロードに対する関心はしだいに高まりつつある。中略。そこには広漠とした砂漠があり、まだ文明に汚されない民族の住むオアシスがあり、その果てに白く輝く山脈があつて、夢想好きな人人を惹きつけてやまない。

しかし、そういうエキゾチックな興味の他にしだいに狭くなりつつある世界は、実体としてのシルクロードの認識を必要としつつある。中略。自然は悠久の昔と同じであろうが、そこに育まれる人間の営為は変わりつつあった。もはやシルクロードにはロマンチックなほのかな道ではなく、われわれと現実に結びついている事を深く感じた。文明国へ行きたがるのは二流国民で、一流国民は未開国へ行

く、と言ったイギリス人がいる。われわれは一流国民でありたい。」以下略

1984年から1997年の13年間の天山への情熱は圧巻です。

NHK/TVのシルクロードの放映が1980年から始まった。喜多郎の音楽もブームになった。鈴木さんが「鹿島山荘」を閉鎖したのは44歳だった。パミール以西しか行けなかったが、中国側も開放されて、情熱を中央アジアへと注力していった。33歳で深田さんと同行した夢を51歳でふたたび実現した。65歳で発病して3年間の闘病生活の後に果てたのである。

### 鈴木重彦 略年譜と関連事項

昭和8(1933)年1月27日 三重県桑名郡長島町に生まれる

昭和29(1954)年 愛知大学法経学部に入學。

山岳部創設。3年先輩に生涯親交した一柳政右エ門(支部員)がいた。

昭和33(1957)年 愛大卒業、御園座近くに「鹿島山荘」を開業。5月にはひかるさんと結婚。

昭和36(1962)年4月鹿島槍北壁で遭難。親友の原武さん(名大生)を失う。

4月日本山岳会東海支部設立。鹿島槍で遭難したことを契機に兄の原真が入会。

昭和38(1963)年の愛大薬師遭難で弟の俊彦を失う。

昭和41(1966)年1/23～5月まで深田久弥のシルクロード学術踏査隊に参加。

昭和46(1971)年 鹿島山荘が中区錦三丁目のカシマビルに移転。

昭和47(1972)年 9月日中国交正常化

昭和52(1977)年 カシマビルの1Fに喫茶「上高地」を開店

昭和54(1979)年 鹿島山荘は閉店

昭和55(1980)年4月『NHK特集 シルクロード—絲綢之路(しちゅうのみち)—』は、東西文明交流の道である秘境・シルクロードの全容を初めてテレビカメラに収めた、日中共同取材のドキュメンタリー放映開始。

昭和59(1984)年 7/16～8/31 日本山岳会東海支部ボゴダ峰登山隊顧問として参加。天山山脈、天山南路を撮影。

昭和61(1986)年 7/21～9/2 日本山岳会東海支部日中友好天山山脈雪蓮峰(第一次)顧問として参加。別動隊として天山山麓へ。



アフガニスタン・パミヤンの遺跡前で。左から長沢和俊副隊長、深田久彌隊長、筆者。  
<パミヤン遺跡の前で左鈴木重彦 中央深田久弥>  
濁流に飲まれ九死に一生を得る。

昭和62(1987)年 2/6～2/11 大須ワキタギャラリーにて鈴木重彦写真展「天山にオアシスを求めて・シルクロードの旅」開催。

昭和63(1988)年 7/3～9/3 日本山岳会東海支部第二次日中友好天山山脈雪蓮峰登山隊顧問。別動隊として天山北路へ。

平成2(1990)年 7/8～9/3 東海支部設立30周年記念 第四次天山山脈雪蓮峰登山隊天山別動隊、中国西域踏査隊長として参加。

平成4(1992)年 5/9 名古屋都ホテルにて写真集『シルクロードの秘境・天山』出版記念会開催。

愛知大学同窓会設立40周年記念誌『「愛」「知」「絆」と』に「悔やまれる1本のミッテラー薬師遭難を省みて—を寄稿。

平成6(1994)年 7/24～8/7 モンゴル草原の旅

平成7(1995)年 7/9～7/23 天山の旅

平成8(1996)年 7/5～7/24 天山路踏査

平成9(1997)年 9/9～9/22 天山の旅

平成10(1998)年 4/30 胸の痛みにて八事日赤病院に入院。胆石摘出。

平成11(1999)年 8/19 突発性硬化症胆管炎にて瀬戸山口病院に入院。2週間。

平成12(2000)年 「上高地」閉店

平成13(2001)年 2/28 愛知医科大付属病院入院 4/20 肝不全のために永眠。

享年68歳。

<東海山岳No9(石原国利、鈴木ひかる作成の年表)を参考に編集加筆>



## 東海支部の蔵書からの一冊②⑦

図書委員会委員長 石田文男

『追憶のヒマラヤ マカールー裏方繁忙録1970』

著者・尾上 昇

この一書を拝受したのは昨年末で、「遂に出た・・・」との想いと驚きに駆られたものだ。以下、本書の紹介の一助になればと、本文の引用を多用させてもらった。

著者は1970年、ネパールヒマラヤの〈マカールー南東稜〉に派遣した日本山岳会東海支部隊の一隊員である。「26、27歳のこの体験があまりにも鮮烈で強烈だった事を知り、」今日に至る登山人生をとつとつと述べていて興味深くもあり、ある意味「JAC-TOKAI-GAIDE」には無い東海支部史でもある。

「本書は、私の回想録であり独白である。あるいは備忘録といってもよい。報告書や記録の検証ではない。・・・回想とは辞書を引くと《かつての経験を再認し、感情を伴って再生すること》とある。まさに過去のことに思いを巡らすのであって、・・・」が、この書の底流になっている。

第1部の〈報道の影響と報告書 マカールーとは何だったのか〉の項を読み始めると、つい引き込まれていく。凱旋帰国の熱がまだ冷めやらぬ年の暮れの《NHK紅白歌合戦》の特別審査員に招かれた経緯にまつわる話や、「帰国後の半年頃、ある著名な登山家から我々マカールー隊の登頂を疑問視する声があがった。田中・尾崎両隊員の行動があまりにも超人的であり、あの登頂は現実離れしているというのである・・・」などが。

さらに「山登りは、登った人が登ったと言えば、登ったのである」の論調が続く。この疑惑は翌年の5月、西稜から第3登を果たしたフランス隊が持ち帰った日章旗により晴れたのだ。が、この話はその6～7年後、支部宛てに一通の封書が届く事へと続いていく。

「その内容の要約が、《東海支部のマカールー登頂について、翌年にフランス隊が頂上から日章旗を持ち帰ったことで証明したということだが、ではそのフランス隊が登頂したことは、どうやって証明されるのか》と言うもので、この話が美談として当時の小学6年生の



国語の教科書に採りあげられたことから、その差出人は明らかに子供からのものだった。

・・・その生徒へは私から返信を書いた。文面は《登った人が登ったといえば、それを信用するのが山登りであり、登山家です。登山は、審判のいないスポーツです。それが登山家同士の約束事です。登頂を証明するなら頂上に立った時の写真ですが、残念ながら我々にはその写真がありません。・・・フランス隊が登頂した日は快晴の昼間だったから写真がたくさんある・・・。真相を知りたいければ、ぜひフランス山岳会に問い合わせしてみてください》とした。小学生相手に少々意地悪そうに・・・。ともあれ、その後小学生からの反応はなかった」と。爽やかである。

ヒマラヤ遠征は報告会と報告書の発行をもって終わり、この公式報告書は1972年10月『遙かなる未踏の尾根MAKALU1970』として発刊されている。「この報告書は大変ユニークである。・・・C5建設のあたりから登頂成功までの、主にBCと各キャンプ間の交信記録も掲載・・・限界ギリギリの当時の状況が臨場感と緊張感たっぷりに再現されていて、読む側にとっては面白いものだろう。まるで航空機のボイスレコーダーを聞くようなもの・・・。」と述べられていて、こんなところに触れると改めてこの大著を読みたくなってくる。当然、

この一書も支部蔵書に入っている。

第2部の一つ〈混乱と新生の東海支部〉を一気に読んだ。マカルー遠征以後の支部の混乱期から今に至る変遷が潮流のように語られていて、まさに東海支部小史である。ここにここ10年で山登りを始めた人には勿論、それ以上在籍の人にもぜひ一読をお薦めする。

「・・・マカルー以後も彼の頭の中には海外登山計画しかなく・・・ジレンマに陥っていた。・・・元来、クラブやサロンを旨とする日本山岳会の支部に海外登山一辺倒は雰囲気として馴染まなかった。・・・ついに彼は東海支部解散論まで持ち出す始末に・・・さすがにこれは放っておけないと中世古隆司が原病院の支部ルームから支部に関する重要書類や印鑑を持ち出し、ルームを中世古宅に移す変更届けを本部に提出した。そのうち彼と支部との関係に軌轢が生じていき・・・」。やがて新支部長探しに翻弄しているうち、自

分自身にその任が回ってくる経緯など、興味深い。

挙げ始めると切りがないが、さらに東海支部長に2度。後、日本山岳会長に就任した経緯などのペンがその一時代時代を滔々とすすんでいく。

あとがきには「・・・多少なりとも山に興味を抱いている人には、ご理解いただける余地があるのではと、自惚れている」とあり、ある会員曰く「《好き勝手、やりたい放題でしたね》・・・そんな男の独白とご理解賜れば幸甚である」は、首を縦に振るものだった。

本書は第1部「マカルー1970」18項、第2部「私と山、若き冒険の日々と山岳会」9項で構成されている。腰を入れて読破したい。東海支部の歴史の概略を示唆している。

B5判 335頁 発行：令和2年12月

発行所：中部経済新聞社

会員の広場

## 同好会紹介コーナー

### スケッチクラブ 〈新年度の体制〉

石井 仁

2021年2月からスケッチクラブの代表を受け、下記の体制での運営となりました。前任の石田さん同様、宜しくお願いします。

代表：石井 仁

事務局：村中征也

岩田智与子

山好き・絵好きの集まりで、会費ゼロの会です。現在会員が減少しているので、気楽に声を掛けて下さい。

年間のスケッチ旅行を通して交流、指導者は居ませんが、「教え・教えられ・ワイワイ・ガヤガヤ…」そんなグループです。

### 〈第7回作品展〉

2月10日(水)から予定していた第7回作品展は、ウィルス禍の緊急事態宣言を受けて延期(1月17日のメールマガジンで連絡)しましたが、下記の日程で開催します。

会期：6月30日(水)～7月4日(日)

9:00～17:00

\*初日は13:00～

\*\*最終日は～15:00

会場：名古屋市の市政資料館・第5展示室  
地下鉄市役所駅2番出口を東へ8分

山の絵の他、会員が描き溜めた多彩な作品を展示します。

東海支部の皆さんには、知人の方々をお誘いの上、ご来場下さるようご案内させていただきます。



写真は昨年(2020年)の第6回作品展会場にて

リレーエッセイ⑫

上高地帝国ホテルと揚輝荘・聴松閣

支部友会委員 田中 進

上高地は明治、大正時代には徳本峠を超えて入るのがメインルートでした。昭和2年に釜トンネルが開通し、昭和6年に国立公園に指定され、山岳リゾートとして注目されるようになりました。昭和7年に入り外国人向けのホテル建設の機運が生まれ、この時、長野に旅行した帝国ホテル会長大倉喜七郎は、釜トンネルからホテル建設地まで長野県が県道を作ることを条件に帝国ホテルを上高地にと、長野県知事の提案を受託することになりました。同時に政府の国際観光調査会で「上高地ホテル新設の件」が決定されました。

工事内容は、敷地千坪は営林署より払い下げ、建築費25万円は大蔵省が長野県に融資することが決定しました。工事は融資の決定が遅れたため、大幅に遅れ5月下旬着工、9月末竣工という突貫工事でした。工事はホテル直営の大倉土木(後の大成建設)、設計を高橋貞太郎が担当しました。建築主は長野県です。



昭和8年10月5日 竣工・大倉土木

スイス風山小舎風木造4階建てのホテルの工事は予定とおり進み、昭和8年10月5日、晩秋の気配が漂う中で落成式を迎えました。

当時の観光委員であった松坂屋社長伊藤次郎左衛門祐民(すけたみ)が出席していました。落成式当日の写真から出席者の皆様の自動車が見えます。当時、国産車は無くフォード、パッカード、ハドソン等の車で、伊藤祐民も大正半ばにフォードとハドソンを購入していま

す。ホテルの前の外車の中の1台でしょうか。

当初は部屋数46室で営業開始していましたが、いかに保守に勤めても半年の休眠は建物の老朽化を早めたに違いありません。又、井上靖の上高地を舞台とした小説「氷壁」がブームとなり、ホテル客が増大したため、昭和52年に客室を75室、収容人員も154人と改築されました。



昭和52年改築・竹中工務店

この改築に当たっては高さ制限、屋根の鮮やかな朱塗り等、環境庁や長野県の建築基準法の制約を受けましたが、昭和8年の建物を復元するというコンセプトを関係者に理解してもらいました。工事は竹中工務店によって全面改装され今の車寄せの姿になりました。



昭和12年竣工・竹中工務店

さて落成式に出席した伊藤祐民はすぐにこの帝国ホテルをモデルに揚輝荘の南園に迎賓

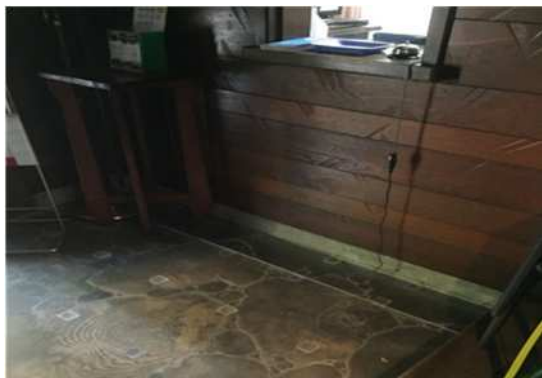
館として、竹中工務店に設計を依頼、昭和12年に聴松閣が竣工されました。当初の設計図は玄関車寄せとして平屋の建物でしたが、祐民は昭和9年に東南アジア・インドの仏跡を旅行したときのイメージを聴松閣の各所に投影させ、二階の書齋も仏陀に由来の日泰寺を眺望するために設計変更しました。

上高地帝国ホテルは一昨年で開業85周年になりロビーに貴重な写真を展示していました。ホテルフロント前の床です。厚さ8cmの輪切り丸太を敷き詰めてあります。

聴松閣も大きさは違いますが、玄関受付前に大小の輪切り丸太を敷き詰めた意匠となっています。



上高地ホテルフロント前・輪切り丸太床



聴松閣玄関受付前・大小輪切り丸太床

このコラムが信濃毎日新聞の名古屋支店長の目に留まり、2019年5月に長野県で新聞記事になりました。

新聞を見た人が揚輝荘に来館され、長野県の上高地と名古屋との関係に感銘されていました。



伊藤次郎左衛門祐民は千代夫人と安曇野市穂高町にハドソン号(愛500大正12年購入)で何の目的で行ったのでしょうか。上高地帝国ホテルの落成式に行った帰りにこの地に寄ったのでしょうか。

この写真には町の名士の人がたくさん集まって丸山菓子舗の前で撮っています。私は丸山会長にこの写真を持参してお尋ねしましたが、関係者はいませんでした。ただこの場所は糸魚川から松本に塩を運んだ千国街道で賑やかな停留所(乗合・貸切渡邊自動車)で、穂高は松本の次の宿場町であることが解りました。



現在、揚輝荘は名古屋市の要請により三密を避けるためにガイド説明はしていませんが、月曜定休以外は9:30~16:30まで開館しています。私は月に6日間勤務しています。皆様ぜひご来館ください。

#### 揚輝荘

千種区法王町2-5-17 TEL052-759-4450  
地下鉄東山線 覚王山駅1番出口歩いて約10分

資料提供：上高地帝国ホテル・揚輝荘

随想

すばらしき岳兄たち(2)

支部員 杉浦吉治

野瀬祥男さんは埼玉県ふじみ野市在住で、首都圏の地方銀行で企画部門の元役員部長を務めておられた。

もう30年近くも前のことだが、野瀬さんはある業界月刊誌に随想を寄稿されていた。タイトルは「山へ登りませんか」だったと記憶している。ちょうどその頃、私も名古屋の地方銀行で同じ部門の仕事をしていたので少なからず親近感を覚えた。しかも、私はちょうどその頃、山岳写真の個展を計画していた。

余談だが、この企画部門は、いわゆる地方版「MOF担」といって、金融自由化の真只中、毎日のように旧大蔵省や日銀からの各種通達や指示を受けてそれらに速やかに対応しなければならない極めてストレスのたまる部署であった。

その中であって、「山へ登りませんか」はその文面から野瀬さんの穏やかなお人柄が偲ばれる名文であったため、この随想を読ませていただき随分癒され安堵したことを思い出す。

野瀬さんには随想を拝読したことと、山岳写真展を開催することを併せてお知らせしたら、個展の盛会を祈念する旨の丁寧なお手紙を頂いた。これをきっかけとして、以降毎年の賀状の交換が始まった。

野瀬さんは退職後も奥様とおふたりで国内外の登山を楽しまれており、その時々仲睦まじい写真を賀状でいただいている。

さらに、25年ほど前からネパールのカリガンダキ流域の小村の支援活動を続けておられる。2015年4月のネパール大地震の時は、人手が足りなくて随分ご苦労をされたようだ。

2007年からは埼玉県国際交流協会の委嘱で、学校で国際理解教育の講師を務めておられ、「子どもたちとお話がとても楽しみです」と知らせてくださった。また、地元ふじみ野市でも環境保全活動もされており、2008年には「ふじみ野市からヒマラヤを見つめて」という演題で同市環境講座の講師も務められた。

私は毎年の東京都美術館における日本山岳

あけましておめでとうございます



早々とお年賀状を有難うございました。  
昨年からは埼玉県国際交流協会の委嘱で学校で国際理解教育の講師をつとめています。子どもたちとのお話がとても楽しみです。

今年がより良い年でありますように本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
昨秋、ボランティアでトレッキングを兼ねて、10日間のネパール旅行を楽しみました。ネパールは心が豊かしく何處か山岳していますが、子どもたちの様子は聞いて、明るい未来を予感させてくれました。  
私たちがまたまた山を先頭に歩けそうです。今年も充実した年となるように、地元に気を付けて頑張りたいと思っております。

2008年元旦

〒356-0028 埼玉県野市西原1-9-11

野瀬 祥男

ト江 (署名)

E-mail: nosey@sjy2.rinet.ne.jp

写真協会展のご案内を差し上げてきたが、ご多忙のためか、なかなか会場でお目にかかることは叶わなかった。

ところが、昨(2019)年の賀状に、ご夫婦とも「高齢により筆を執るのも難しくなったため、本年をもって年始のご挨拶状を締めくくらせていただきます」とのご挨拶があった。誠に残念ながら、ついに野瀬さんにはお会いすることがなかった。ご夫妻そろっていつまでもお元気で過ごされることを心より祈念している。

と、この原稿を当支部報へ投稿することのご承諾をいただくためにお手紙を差し上げたところ、ご承諾はいただいたものの、残念なことに悲しいご返事のメールをいただいた。昨(2019)年暮れに最愛の奥様を亡くされ、そのうえ、野瀬さんはその前後5ヶ月間にわたり体調を崩されて入院されていた。そのため、現在は三鷹市のケア付きハウスに転居されたとのことだ。メールの終わりに、「今は大好きな山も遠い彼方となってしまいましたが、思い出だけは宝石のように私の心に残っています」という切なくも美しい言葉に私は少し救われた思いをした。

奥様のご冥福を心からお祈り申し上げるとともに、野瀬さんの一日も早いご回復を祈っている。

# 60山ラリー登頂経過報告

60周年記念国内事業担当 近藤厚史

## 60山ラリー状況(11月30日現在)

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が再度発令され、60山ラリーの進捗も滞りぎみの方も多いと思われます。

私も去年の夏以降遅ればせながらユースの仲間などと登り始めましたが一旦立ち止まっているところでもあります。あと半年で1コースでも達成したいと考えておりますが、叶わなくても自分のペースで期間後も登りたいと考えております。

### 1、コース別達成者数

全コース達成者	1名(栗木洋明)
100高山	2名(鈴木愛子、栗木洋明)
一等三角点	2名(栗木洋明、山田明美)
愛知県の山	15名(栗木洋明、前田隆久、天野倅明、熊谷美喜子、前田芳子、石井 仁、山田明美、榑 将美、大島 巖、井上寛之、酒井大輔、磯部 隆、遠藤 忍、石田 誠、伊与田玲子)
岐阜県の山	6名(栗木洋明、遠藤 忍、山田明美、大島 巖、酒井大輔、木村孝保)
三重県の山	3名(栗木洋明、石井 仁、山田明美)
静岡県の山	2名(栗木洋明、山田明美)
チャレンジ	33名(栗木洋明、山田明美、石井 仁、酒井大輔、大島 巖、遠藤 忍、堀端静夫、前田隆久、榑 将美、熊谷美喜子、鈴木 浩、前田芳子、水野猛志、石田 誠、伊与田玲子、磯部 隆、光崎 晋、天野叔明、井上寛之、木村孝保、近藤政仁、鈴木愛子、中島美枝、川崎明子、川崎禎明、横地達夫、福井雅子、伊藤 稔、倉橋智司、大倉昌美、杉村正博、鈴木慎吾、松尾久美子)

## 進捗状況(下記表参照)

2/11現在、登録者数は114名となっております。現在のコロナ禍のなか進めるのが難しい状況と察します。今後緊急事態宣言が一刻も早く解除されることを願い、春の登山シーズンに向けて残す期間ラストスパートをかけて一山でも多く達成していただくことを期待いたします。また皆様の安全登山を願います。

### 2、コース別登頂数ベスト5

100高山	鈴木愛子(63)	栗木洋明(60)	山田明美(45)	堀端静夫(29)	中野八千代(20)
一等三角点	山田明美(69)	栗木洋明(69)	石井 仁(53)	堀端静夫(32)	鈴木 浩(31)
愛知県の山	栗木洋明(125)	山田明美(94)	前田隆久(91)	天野叔明(90)	熊谷美喜子(74)
岐阜県の山	栗木洋明(71)	大島 巖(66)	遠藤 忍(64)	山田明美(64)	酒井大輔(63)
三重県の山	栗木洋明(69)	石井 仁(63)	山田明美(60)	酒井大輔(28)	石田 誠(25)
静岡県の山	栗木洋明(65)	山田明美(60)	石井 仁(58)	酒井大輔(13)	近藤政仁(13)
チャレンジ	栗木洋明(402)	山田明美(346)	石井 仁(219)	酒井大輔(173)	大島 巖(162)



## 60山ラリー登山エピソード

### 大きな大きな人の優しさにふれた感動の旅

#### 1. 三重県

① 貝石山162m：津市郊外のゴルフ場で支配人をお願いしてゴルフ場を囲む丘を周回して探索しましたが、見つからずにお礼を言って退場しました。支配人曰く「仲間との低山巡りとなると、これからもお仲間が押し寄せるのですか」。小生曰く「この山はインターネット上でも紹介されていますので、これからも来るでしょうね」。支配人曰く「ええええええー！」。それにしてもどうみてもゴルフ場のお山です。

勇気を出して正門入口手前の藪山を藪漕ぎすると、小さな木札「貝石山」がありました。その傍らに紛失したゴルフボールがころがっていました。帰宅して風呂に漬かっているとマダニが喰いついていました。傷が癒えるのに3か月かかりました。

② 茶臼山56m：亀山市井田川町に到着しましたが分譲宅地の中で山がありません。途方に暮れてしまい庭で洗濯物を干していたご婦人にたずねると、「案内するから私の車についてきてね」とのこと。次の瞬間居間からの声「そんなの相手にすることないいいい！」ご主人さまでした。でも案内して頂くことが出来56mの頂きにすくと立ちました。そこは団地の最高点にある茶臼山公園でした。造成時に発掘された古墳石室の大きな扁平な石が積み重ねて保存されていたのです。奥様！感謝しきれない程の感謝です。

③ 霊山766m：キャンプ場から1時間かけて頂上に立つと、縄跳びをしていた小学1年生が「おじさん登ってきたの？私たちは5m手前の所まで車で来たよ」。小生「うらやましい！！！」。

#### 2. 静岡県

① 楞巖寺山221m：一等三角点の山ですが2,5万図には山名の表記はなく、三角点名は高天神山です。頂上には楞巖寺山の札がありました。また、高天神山132mは高天神城跡のある山で、楞巖寺山の西2kmにあります。私はこの221mの山を何と呼べばよろしいでしょうか。

② 愛鷹山1187.5m：須津神社登山口までの林道

が通行止めで往復6km追加です。登山道は崩壊し新道案内があり辿りました。谷筋にいったん降下し登り返すのですが、行きには気づかなかった旧道へのしっかりした案内板があり、帰路この案内板で困窮しました。案内を辿ると腐りかけたロープと丸太橋があり、苔むした暗い谷へ下りかけました。奈落の底を想わせていたので引き返しました。薄暗くなりビバークも考えた時、谷の側壁の岩にかすかな踏み跡を見つけよじ登ると、その先に新道の案内板がありました。晩秋のため下山はもちろん暗闇で、7時間行程のところ10時間でした。きっと、谷の中の道案内は崩壊で流されたのでしょうか。案内板が何もない方が安全ですね。

③ 烏帽子形山393m：藤枝市の北にある低山です。夕暮れまで2時間とみて狭い林道を登りつめ一気に往復を考えました。ところが、林道脇の岩に擦りパンクです。狭いうえに坂道でありジャッキ操作ができません。JAFを呼ぶと1時間半かかるとのこと、困り果てました。

すると最奥の民家からおじさんが出てきて心配そうに「うちの車庫に入れて待つと良い。灯りはこの屋外用の大型スタンドを使ってください。私はこれから里の住まいに戻ります」とのこと。小生とJAFのエンジニアがお互いにそれぞれカーナビを見ながらコンタクトをとり、無事出会い、事なきを得ました。奈落の底にはまりそうでしたが、優しさあふれた幅広く奥深い慈悲の心をお持ちの阿弥陀様のような方に救われました。感謝してもしきれません。ありがとうございました。

④ 羽鮒山321m：一等三角点の山ですが、平頂山であり頂点が判然としません。30分ほど探索し、人家の裏山の法面を10m藪漕ぎし藪の中に見つけました。個人の所有地のようにも見える不思議な場所でした。

⑤ 娑婆羅山608m：伊豆の松崎町の藪山です。下山で誤ってひと筋西の尾根を下り、畑を辿ると民家の裏庭に導かれ、門扉を内側から外し県道にでました。これって忍びですね。いくらお呼びしてもお留守でした。まことに失礼致しました。申し訳ありません。御免なさい。

⑥ 樗立山888.8m：登山口の穂積神社へ戻った

のは夕暮れでした。誰一人いない霧の境内に日本カモシカが静かにお散歩していました。落ち着いていました。悠久の時間が流れていました。

### 3. 滋賀県

① 箱館山556m: 一等三角点を求めて、箱館山スキー場の休止リフト乗り場に早朝降り立ちました。山頂部の尾根にあるものと思ひ込み、網で仕切られた花壇の花が真っ盛りなスキーゲレンデに入りました。すると下の管理棟のおじさんが「そこのおじさん！どこから入ってきたの。まだゴンドラリフトは動いていないよ。ここは入場料500円だよ。持ってる」ですって。小生「ええええええ500円！三角点を求めてリフト乗り場から網をくぐって入ってきたよ。一等三角点に行くのに500円かかるの」。管理棟のおじさん「それは500円の範囲外の場所にあるよ！管理棟近くの網扉から出て行って下るとあるよ。今日は入場料はいらぬよ」。小生「ありがとう！助かります」。その後、1時間探索するも発見できず退散。

1週間後、今度はゴンドラ乗り場近くの薄い踏み跡を辿って藪漕ぎし、スキー場から派出した支尾根に登り見つけました。万歳！えらい努力でした。二日がかりでした。

② 蓬莱山1174m: びわこアルプスゴンドラに乗り剛毅な気分で打見山の山頂駅に降り立ちました。周りの観光客は街でショッピングをするかのごときの装いでリフトに乗り蓬莱山を目指していました。小生はリュックを担ぎマナジリを決してリフトをうらやましく思いながらも歩きとおしました。しかし、誰も切符を持っていないようです。案内板に曰く「ゴンドラ料金に含まれておりますのでご自由にご利用ください！」だって。もちろん下りに利用させて

いただき時間節約をはかりました。小生も軟弱です。

### 4. 石川県

① 沖波山113.4m: 一等三角点発見に七尾北湾から1時間半かかりました。50haの太陽光発電建設予定地造成の最上部に残されたこんもりした林の中にありました。休日であり現場の留守番のお兄さんが付き添ってくれ、泥でぬかった斜面を登り切りました。発見時はお兄さんが大喜びし、記念撮影をしていました。

② 園家山17.3m: 黒部市入善町の富山湾に面した砂丘です。難なく一等三角点の山をひとつカウントです。

その帰路に黒部市郊外で車のブレーキが抜け、信号待ちの車列に突っ込みそうになりました。急遽、道路わきの塀に接触させて停止させました。歩行者も自転車もなにもなく、塀の管理者も「こすっただけの擦り傷なのでこのままで良いですよ！」との温かい思いやりに助けられました。人身・物損なし、感謝です。

帰宅後、購入した中古車販売店ではない工場で点検しましたが、「ブレーキオイルの劣化で水分吸収量が増え泡粒化が進み易かったのではないのでしょうか。直前に山々を駆け巡っていたことを考慮すると考えられますね。確認しにくい内容ですけどね」とのことでした。

小生は塀の内側の人にならずに済み、車を捨てただけですみました。皆さんとも今までどおりお会いできます。普通の生活を送れることに心から感謝です。これこそ幸せです。これからも安全運転と安全登山に注力いたします。皆さん！ブレーキも故障することがあります。ご安全を祈念致します。ご安全に！

#### 会員の広場

支部員だより

## 靴底剥がれ！を修理する

猿投の森づくりの会代表 和田豊司

下山して車用の靴に履き替えようと今まで履いていた登山靴を脱ぐと踵が剥がれかかっている。両足ともである。登山開始時には気が付かなかった。よく聞く登山靴の接着剥がれが自分自身にも起こったのかと妙に納得する。

家に帰って登山靴の踵をよく観察するとどうも接着剥がれではなさそう。ビブラム製のアウターソールとインナーソールの間にある

ミッド(中間)ソールと言われるスポンジがねっとり崩れて全く強度がない。踵の部分は灰色の、つま先部分は黒色のスポンジである。つま先部分は全く健全である。接着もしっかりしている。

多少化学材料には知識があったのでその原因の究明とできれば自分で修理できないか検討してみることにした。

登山靴はHANWAG（ドイツ）製のオールシーズン用で一応12本爪のアイゼンでも装着可能なハードソールである。購入してから数年経過している。保存は乾燥した玄関下駄箱の高い位置に収納してあり湿気、高温にはなりにくく、登山靴の収納場所としては一等地と考えられる。使用頻度は10日／年程度であり靴底の摩耗はわずかである。

ネット上で靴底剥がれを検索すると有り余るほどの情報が出てくる。そのほとんどが接着剥がれで、成形した靴底全体の接着層が劣化して剥がれてしまうケースがほとんどである。いずれもウレタンが加水分解して接着力をなくし剥がれにつながっているとしている。スポンジ層の劣化を解説している記事は意外と少ない。応急処置も布粘着テープ、テーピングテープ、ナイロン結束バンド、針金など種々の方法で紹介されている。

靴の修理については専門業者に依頼し全面的に剥離し、接着層を除去した後接着しなおすことを推奨している。

小生の靴はよく観察するとミッドソールの踵部分が衝撃吸収性に優れたウレタンスポンジでできており、このスポンジが加水分解し、軟化したようだ。軟化した部分はチューイングガムと水飴のような感じである。内部は乾いたカステラのような状態である。つま先部分は変化している様子はなく、まだしっかりした黒いスポンジのままである。全く劣化していない。分析していないので材質は不明のままである。修理してみることにした。

手順は次の通りである。

- ①ウレタンスポンジの除去……劣化したスポンジをカッターナイフで削り取る。接着剤以外は残らないようにきれいに削り取る。
- ②接着剤を除去する……これはネイルリムーバー（アセトンという溶剤が入っている）で湿らした不織布（キッチンワイパー）でふき取る。
- ③サンドペーパーで残った接着剤を削り取り、表面を荒らす。
- ④新しいスポンジを用意する……小生はホームセンターで10mm厚のNBR（ニトリルゴム）スポンジを購入、使用した（327円）。若干クッション性が劣ることを覚悟。
- ⑤靴底とスポンジを両面にゴム系接着剤（140円）をしっかりと塗り、10分乾燥させる。



劣化した灰色のミッドソールを除去



新しいNBRスポンジを挟み込む

⑥スポンジを挟み込み接着する。

⑦木ねじ（25mm）でさらに固着する。

⑧余分なスポンジをカッターナイフで削り取る。

これで完成。

25mmのビスで止める →  
接着後余分の部分を切除 ↓



近くの山で数時間歩いてみたが特に問題ない。何とか使用に耐えそうである。大成功と考えている。

自分で修理することを推奨しているわけではなく、あくまでも靴底剥がれは専門業者に依頼して頂くのが本筋である。注意して頂きたい。

報告にあたり装備委員長の千葉氏に助言頂いた。

# 委員会報告

## 【山行委員会】

2020年度 支部山行実施状況

	日程	山域	山名等	参加人数	リーダー
4月	8日	東三河	鳳来寺山、本宮山、石巻山 等	中止	石井
	10日	鈴鹿山系	イブネ、クラシ	中止	鈴木
	11日	鈴鹿山系	カクレグラ、ダイジョウ	中止	石田伸
	12日	鈴鹿山系	鎌ヶ岳	中止	石田誠
	19日	各務原	伊木山	中止	伊藤
	21日	南信州	蛇峠山、網掛山	中止	鈴木
5月	2日～4日	北アルプス	奥穂高岳	中止	石田誠
	7日	鈴鹿山系	竜ヶ岳	中止	鈴木
	9日	高島トレイル	百里ヶ岳	中止	吉田
	10日	各務原	伊木山	中止	伊藤
	10日～11日	伊豆半島	遠笠山、寝姿山 等	中止	石井
	16日	鈴鹿山系	愛知川廻行	中止	山田
	16日～17日	信越トレイル	斑尾山 等	中止	石田伸
6月	3日	愛鷹山塊	黒岳～越前岳	中止	石井
	4日	各務原	伊木山	中止	伊藤
7月	11日	各務原	伊木山	中止	伊藤
	12日	鈴鹿山系	元越谷廻行	5人	渡邊
	17日～18日	静岡	富士山	中止	石田誠
8月	8日	各務原	伊木山	中止	伊藤
	17日	奥飛騨	沢上谷廻行	中止	鈴木
	27日～30日	北アルプス	横尾本谷～南岳～槍ヶ岳	中止	山田
9月	5日～6日	両白山地	大日ヶ岳	中止	稲葉
	12日	各務原	伊木山	5人	伊藤
	19日～20日	八ヶ岳	赤岳	中止	石田伸
	23日	布引山地	錫杖岳	中止	石井
	26日～27日	鈴鹿山系	釈迦ヶ岳周辺谷廻行	4人	渡邊
10月	10日	各務原	伊木山	中止	伊藤
	17日	余呉トレイル	椿井嶺	中止	伊藤
	24日～25日	奥飛騨	荒城川木地屋溪谷廻行	4人	渡邊
	24日	鈴鹿山系	鎌ヶ岳	4人	石田誠
	25日	湖北	横山岳	6人	吉田
	26日	南信州	蛇峠山、網掛山	6人	鈴木
	28日	東三河	鳳来寺山、本宮山、吉祥山 等	7人	石井
	31日	鈴鹿山系	カクレグラ、ダイジョウ	4人	石田伸

11月	3日	養老山地	養老山、笹ヶ岳 等	7人	稲葉
	3日	関宿周辺	観音山、筆捨山、羽黒山 等	5人	鈴木
	3日	美濃加茂	富士山、愛宕山、白山	4人	石田伸
	3日	奥美濃	三周ヶ岳	5人	山田
	3日	沼津アルプス	大平山、鷲頭山	5人	石井
	7日	各務原	伊木山	4人	伊藤
	14日～15日	鈴鹿山系	イブネ、クラシ	4人	石田誠
	21日	瀬戸市東方	岩巢山	中止	大矢
	27日	鈴鹿山系	日本コバ	6人	鈴木
	28日	南勢	霧山	4人	伊藤
12月	2日	愛鷹山塊	愛鷹山	5人	石井
	10日	松阪西	矢頭山、髯山	5人	鈴木
	12日	各務原	伊木山	5人	伊藤
1月	9日	各務原	伊木山	4人	伊藤
	13日	布引山地	錫杖ヶ岳	7人	石井
	17日	余呉トレイル	椿井嶺	中止	伊藤
	17日	田原アルプス	衣笠山、滝頭山、藤尾山 等	4人	石田伸
	22日	高島トレイル	赤坂山	中止	鈴木
2月	4日	鈴鹿山系	藤原岳(天狗岩)	中止	鈴木
	7日	高島トレイル	二の谷山	中止	伊藤
	13日	各務原	伊木山	中止	伊藤
	24日	布引山地	経ヶ峰	中止	石井
	27日	尾張	尾張富士・尾張白山・尾張本宮山	6人	稲葉
3月	6日	九頭竜川上流	岩穴谷山	中止	伊藤
	13日	各務原	伊木山	5人	伊藤
	14日	各務原	各務原アルプス	6人	稲葉
	24日	愛鷹山塊	黒岳～越前岳	6人	石井
	30日	鈴鹿山系	鈴ヶ岳	6人	鈴木

総人数 148人 (297人)

平均 5.1人 (8.0人)

実施率 46.8% (66.1%)

※ コロナウイルス感染拡大のため、半数以上の山行が中止となった。(昨年度)

※ 3月の山行については、実施予定で記載してある。

山行委員会委員長 鈴木慎吾

# 支部友コーナー

## ◆支部友委員会山行計画(令和3年年7月～9月分)

<夏山>7月16日(金)17日(土)☆☆

山城:稲武・木曾恵那 山名:恵那山

リーダー:田中 進

<夏山>7月24(土)25日(日)☆☆

山城:八ヶ岳南部 山名:赤岳

リーダー:村瀬恭平

<夏山>8月7日(土) ☆

山城:八ヶ岳連峰 山名:北横岳

リーダー:水野猛志

<夏山>8月20日(金)～22日(日)☆☆☆

山城:南アルプス 山名:甲斐駒ヶ岳

リーダー:高松信治

<夏山>8月28日(土)～30日(月)☆☆

山城:北アルプス 山名:常念岳、大天井岳

リーダー:磯部 隆

<夏山>9月4日(土)5日(日)☆☆

山城:奈良県 山名:大台ヶ原山、大峰山

リーダー:近藤政仁

9月5日(日) ☆ 募集開始6月5日

山城:福井 山名:岩籠山

リーダー:今津英一朗

9月11日(土) ☆ 募集開始6月11日

山城:静岡 山名:山伏

リーダー:水野猛志

<夏山>9月19日(日)20日(月)☆☆

山城:北ア南部 山名:乗鞍岳&五色ヶ原

リーダー:金谷正起

9月18日(土) ☆

山城:鈴鹿峠・平松 山名:錫杖ヶ岳

リーダー:磯部 隆

## 次回支部友ミーティング 開催内容のお知らせ

① 第43回「2021夏山への誘い」

日時:4月13日(火) 19:00～21:00

会場:OMC ビル4階

夏山8山行を各リーダーが説明。当日参加者(リモート参加者含む)は先行申し込み受付します

②第44回「朝明ミーティング」

4月24日(土)25日(日)は中止します

## 山行対象者 支部友会員及び支部会員

### 申込み方法 ・支部友会員は申込締切日までに、

各山行リーダーが示す方法で申し込む。

・締切日 原則山行日1ヶ月前まで。(締切日を過ぎての参加空き情報はリーダーに直接問い合わせ下さい)

・支部会員は申し込み締切日の翌日以降に、各山行のリーダーへ問い合わせる。

・山行の募集人員を超えない範囲で、支部会員の参加申し込みを受け付ける。

・<夏山>の申し込みは2山行まで、多数の場合抽選有。募集は4月13日の支部友ミーティング参加者優先します。以降4月14日から各リーダーに申し込み。

### 支部友会員数

令和3年2月末現在/75名

### リーダー連絡先

尾上 昇 FAX:052-832-3878

メール: [onoe@onoe.co.jp](mailto:onoe@onoe.co.jp)

金谷正起 携帯:090-9931-3600

メール: [kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp](mailto:kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp)

榊 将美 携帯090-7237-4410

メール: [m.sakaki@minds-consulting.jp](mailto:m.sakaki@minds-consulting.jp)

村瀬恭平 携帯:090-4186-9876

メール: [hoshizakari@docomo.ne.jp](mailto:hoshizakari@docomo.ne.jp)

田中 進 携帯:090-9191-8666

メール: [t-susumu@peace.ocn.ne.jp](mailto:t-susumu@peace.ocn.ne.jp)

今津英一朗 携帯090-2616-7549

メール: [imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp](mailto:imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp)

磯部 隆 携帯:090-9180-7245

メール: [takass@yk.commufa.jp](mailto:takass@yk.commufa.jp)

高松信治 携帯:090-3156-5268

メール: [takama2nobu3@yk.commufa.jp](mailto:takama2nobu3@yk.commufa.jp)

松本陽子 携帯:090-7859-4031

メール: [yo-kom@nifty.com](mailto:yo-kom@nifty.com)

水野猛志 携帯:090-5866-3781

メール: [r34668@bma.biglobe.ne.jp](mailto:r34668@bma.biglobe.ne.jp)

近藤政仁 携帯:090-2183-8125

メール: [vft55ud55@gmail.com](mailto:vft55ud55@gmail.com)

山田明美 携帯:090-4083-7413

メール: [yfd32147@nifty.com](mailto:yfd32147@nifty.com)

# 会 務 報 告

## 【2020年11月常務委員会】

1. 支部長挨拶(高橋):新規入会者のアンケートから山岳会に求めているデータが出た。希望は三つに分けられ①知識を深める講習会の実施②スキルをアップ③交流、仲間づくり、の希望が多かった。また、ハイレベルの登山を求める人も多いと思われる為検討していきたい。

### 2. 委員会報告

①総務委員会(今津):静岡支部の記念事業が12/6にあるので東海支部より電報とお酒を送る事にした。また東海支部の新年会は中止とした。相談事項として、ルームのキャビネットを入れ替えと各委員会に利用スペースを割り付けたので整理をして戴きたい。次にコピー機リースの更新と、スクリーンの購入を予定している。→常務委員会は承認した。

次に全国山岳古道調査120周年プロジェクトが全国支部長会議で提案された。東海支部も東山道・熊野古道・鎌倉街道を対象として取り組む事を予定している。また冬フェス12/26への参加の紹介と東海支部のブースを設定し特別協力をしていく旨報告。

②県岳連(鈴木愛):12/26~1/6の期間に予定する冬山計画は12/4までに鈴木までに連絡してほしい。個人山行は特に報告を求めている。次に「新型コロナウイルス禍での山岳ガイド活動」の講演の紹介と、WEBによるオンライン講演となる旨報告された。

③支部友委員会(金谷):支部友ミーティング・忘年会は中止とした。冬山フェスタは会員勧誘のためブースに参加をする。

④山行委員会(鈴木慎):山行実施状況報告の内、60山ラリーとタイアップした合同登山11/3の5つの山行は予定通り実施終了した。また山行委員会の開催日の変更については此れまでの第三水曜日から第二水曜日へ変更する。

⑤猿投森づくり委員会(和田):定例作業は議事録の報告の通り。アファンの森研修は11/8・9に19名の参加で森の作り方などを研修した。次に上高地山研除伐調査は11/8に実施した。2021年度に事業計画に入れ実施する。年末の猿投の森づくりの行事の餅つきは12/13現在で愛知県の警報が出ていなければ12/19実施する予定。

⑥東海ユース(服田):会員動向は16名で変動なし。定例山行は支部山行と合同企画で養老山

から筈ヶ岳を実施。ユースから8名参加で終了。12月19日は猿投山。1月は藤原岳を計画。

⑦支部報編集委員会(星):東海支部報164号の原稿締め切りは11/末とする。自然保護からアファンの森のコメントを入れる事になった。

⑧学生連盟(草野):山行報告は雪山希望者による鈴鹿縦走を10/31・11/8に実施。体力トレは11/13猿投山40kg歩荷トレをした。12/5・6西穂高雪上訓練、年末年始には雪山計画予定。学生連盟総会は12/4、参加者は16名で予定している。

⑨登山学校委員会(榊):山行報告は提出資料の通り各教室とも終了した。12月計画の審査はリスクグレード1・2ともに終了。同窓会山行の進捗は順調に進んでいる。机上講習は「登山計画の立て方」「読図」を終了。

⑩自然保護委員会(井藤):本部・関西支部による全国自然保護集会在40名で行われた。コロナ対策が十分に行われたものだった。

⑪ボランティア委員会(前田):行事は休止状態が続いているが、支部による12/5ひまわり登山は実施予定。

⑫遭難対策委員会(山田):10月は山行が増えてきた。支部へ提出の計画書は遭対委員全員が閲覧出来る様にした。3月雪洞訓練を計画。12/12冬季天気予報講座を計画。東邦ガスと共同の遭対システムのテストは11/26実施。

11/30に6月のタンポでの道迷いの事故のお礼とお詫びに揖斐警察と消防本部へ訪問予定。

⑬写真展実行委員会(坂本):写真展は2/2~2/7に実施する。来場者は全て「氏名・住所・電話番号・連絡先」を記入する事になった。撮影山行は12/5琵琶湖北西岸の賤ヶ岳から山本山縦走後湖岸の夕暮れとコハクチョウの撮影を予定する。

⑭技術向上委員会(片岡):安全登山の上でコンパスの利用についての纏めを報告書により配布した。コンパスは計画書の添付が可能。エキスパートは添付が不可との事。

⑮デジタルメディア委員会(井上):登山届計画書の保存期間について半年とする旨報告がされた。

出席:高橋、榊、尾上、今津、佐野、市川、井上、鈴木慎、井藤、鈴木愛、和田、坂本、草野(リモート参加)星、金谷、服田、片岡

## 【2020年12月常務委員会】

日時：12月23日(水)19時00分～20時20分  
(zoomとの並行開催)

1. 支部長挨拶(高橋)：現在コロナ第3波により皆様の中には職場で行動規制が出ている方もいると思う。新しい生活様式に沿って会としてもzoomを導入した。会の将来に向け情報媒体もうまく使っていく必要がある。皆さんからも色々提案していただきたい。

### 2. 委員会報告

①総務(今津)：東邦ガス位置情報検知システムフィールドテストは山田副支部長を主としてやっていただき無事終了。コピー機を更新した。パスワード等は登録終了次第各委員会へ伝える。全国山岳古道調査については今後進めていくが現地踏査については皆さんのご協力を。

(高橋)：越後支部より「写真で見る高頭祭のあゆみ」が送られてきて記念碑の建造にあたり寄付をとのこと。一口寄付を行いたい。→了承

②岳連(鈴木愛)：愛知岳連加盟団体の年末年始の冬山入山計画について配布資料のとおり。支部については登山学校状況の1件。

③支部友委員会(金谷)：2月の支部友ミーティングについてはコロナ感染防止のため中止。

④山行委員会(鈴木慎)：11月～1月の山行について報告。緊急事態宣言解除後の山行は順調に実施できている。山行委員会として無線機2台の購入を予定しており、委員には無線免許資格取得を促している。

⑤猿投の森づくり委員会(和田)：12月の納会については残念ながら餅つきは中止となった。12月26日よりなごや環境大学講座がはじまる。定員15名に対し25名の申し込みあり。感染防止対策を行い実施予定。

⑥東海ユース(服田)：入会候補の方があったが仕事の都合もあり入会見合わせとなった。

⑦青年部(荒木)：見学者2名は検討中。

⑧登山学校運営委員会(榊)：今後コロナがどうなるかはあるが現在のところは順調。指導員研修については資料のとおり進めており、今後も5名の指導員候補者を選定し研修を続ける。

⑨図書委員会(石田)：今月は委員会休会。中野氏より30数冊の書籍を寄贈いただいた。(和田)：蔵書について目録をHPで公開いただくことを検討していただきたい。→検討する。

⑩自然保護委員会(井藤)：活動については配布資料のとおり。森林インストラクターに1名合格した。

⑪支部報編集委員会(星)：164号は印刷中。25日に発送作業を行う。60周年記念刊行物の東海山岳12号は1月より計画案を提示する予定。

⑫ボランティア委員会(前田)：12月のひまわり山行は自主山行に切り替えて実施。2021年の各山行については実施を前提に資料のとおり準備中。

⑬遭難対策委員会(山田)：登山届提出状況について配布資料のとおり。11月は鈴鹿で3件事故があった。気を付けていただきたい。

⑭写真展実行委員会(坂本)：写真展は予定通り2月2日～7日の5日間で実施。今回はコロナ感染防止のため受付も依頼していない。支部報と一緒にポストカードを送るので配布してほしい。

⑮技術向上委員会(清水)：支部員への情報提供として「安全登山教室<12月号>」の案を作成した。ここで3点皆様にご相談したい。3点の内容については配布の案のとおり。→一部総務及び支部長に委任しあとは了承。

3. その他(今津)：本部より2021年度「特別事業補助金」募集あり。要項は配布のとおり。申し込みする委員会は今津までご連絡いただきたい。また、配布のとおり山の日事業委員会より「山の日レポート」寄稿依頼あり。令和2年度第10回登山教室指導者養成講習会について募集あり。いずれも申し込みは今津まで。出席：高橋、佐野、山田、市川、金谷、鈴木(慎)、榊、和田、前田、井藤、服田、星、石田、清水、坂本、荒木、鈴木(愛)、大槻

## 【2021年1月常務委員会】

日時：1月27日(水)19時00分～20時35分  
(zoomとの並行開催)

1. 支部長挨拶(高橋)：再び緊急事態宣言発出となった。感染すれば自身だけでなく周りも出勤停止になるなど影響が大きい。登山自体はリスクが低い、個人山行については個で行って個で帰るなど対策をしていただきたい。

### 2. 委員会報告

①総務(今津)：冬山フェスタは盛況で数名入会者がいる。4割が夏山フェスタの参加経験がない方でニーズがあるため来年も開催予定。次年度の総会は5/16に、1/16に新年会と併せ60山ラリー表彰とマカルー記念講演を開催予定。支部の装備を各委員会ではなく一括管理できないか装備委員会を立ち上げる。古道調査は本部へ報告した。西山氏に期待との返信あり。



②会計(市川):次年度の支部費について支部員へは4月の支部報に同封予定。支部友については登山学校の都合に合わせ7月支部報に同封する。

③岳連(鈴木愛):1/19 理事会の報告・審議事項は配布資料のとおり。鈴鹿ではヤマレコの道迷いの記録を辿ってしまうことによる遭難が起きている。遭難を考える会講演では利尻の事例としてコロナ感染者には消防や警察のヘリが使えないということがあったとのこと。登山勉強会についてはWeb 開催予定。

④支部友委員会(金谷): 緊急事態宣言により御在所岳は中止。冬山フェスタの体験山行についても延期。4月の朝明ミーティングも開催は難しいと思っている。

⑤山行委員会(鈴木慎):緊急事態宣言により愛知県外は中止。今後の山行もコロナの影響でどこまで実施できるかは不明。

⑥亀の会(加藤欠席):緊急事態宣言下のため期間中の行事は中止している。

⑦猿投の森づくり委員会(和田):定例行事は県内で屋外作業であることから予定通り実施。12/26の環境大学講座は盛況。コロナで室内行事が中止となっていることから家族連れも多かった。豚熱かヤマザクラフィールドで倒れたイノシシを発見し、市に処理依頼した。

⑧東海ユース(服田):配布資料に基づき1月以降の活動について報告。定例山行については緊急事態宣言により1~2月は中止した。

⑨60周年記念事業(尾上氏欠席につき報告なし)

⑩支部報編集委員会(星):165号の記事について配布資料のとおり。原稿は2/末メ切となる

布資料のとおり。緊急事態宣言により当面合同山行も個人山行も中止。

⑪学連(草野氏欠席、丸岡氏代理出席):12月~1月の山行について配布資料のとおり。緊急事態宣言により今後の予定は未定となっている。

⑫登山学校運営委員会(榊氏欠席につき服田):山行は県内に変更して実施。上級は延期。指導員講習は昨年で一区切りとなったが補講としてあと数回実施予定。

⑬海外登山(高橋):60周年に併せカナダ在住する山田氏の海外登攀登山について支援を予定。コロナの状況が良くなればヒマラヤを考えている。

⑭ボランティア委員会(前田):少年補導委託登山については宿泊は困難なため日帰りを実施できないか家裁に打診中。

⑮支部刊行物編集委員会(星):東海山岳の記事について現時点の案を配布した。今回は2012年以來となり、その間の各種記録を掲載予定。

⑯遭難対策委員会(山田):リスクチェック要領について意見をいただき見直しを行っている。12月委員会ではグレード3を1件審査。3月に委員会山行を予定しているがコロナにより中止の可能性あり。

⑰写真展実行委員会(坂本):感染対策を行い、予定通り2月2~7日で実施する。

⑱技術向上委員会(清水):1月の委員会では次年度の活動方向について議論する予定。

出席:高橋、佐野、山田、市川、金谷、鈴木(慎)、和田、前田、井藤、服田、星、井上、石田、清水、坂本、荒木、鈴木(愛)、丸岡

### 東海山岳12号の原稿を募集します

2012年に東海山岳11号を発行してから8年以上が経ちました。その間、公益法人化や自前の登山学校の発足、青年部、支部友会や同好会等活発な活動がなされています。

構成内容

I 支部60年史 II 50年史記念事業 III 海外登山 IV 国内登山 V 支部の活動報告  
VI 研究 VII 随想 VIII 追悼 など

東海支部員各位が過去・現在・未来と支部の活動を繋げていくためには、支部の活動のありのままを記録に残すことが重要です。支部員各位に原稿を募集します。原稿締切は10月末の予定です。問い合わせはE-Mail: [khoshi@katch.ne.jp](mailto:khoshi@katch.ne.jp)までお願いします。

支部刊行物編集委員会・星 一男

ので期限までに提出いただきたい。

①青年部(荒木):12月以降の活動について配

ル ー ム 日 誌

—・— 12月 —・—・—・—・—・—

- 1 (火) 県岳連 TNCC
- 2 (水) 青年部
- 3 (木) 写真展実行委員会
- 4 (金) 古道塩の道
- 6 (日) 東海ユース
- 7 (月) 支部友委員会
- 8 (火) 支部友ミーティング
- 9 (水) 山行委員会
- 10(木) 自然保護委員会⇒中止
- 14(月) 登山学校運営委員会
- 15(火) ボランティア委員会
- 16(水) 総務委員会・正副支部長会議
- 17(木) 東学連
- 21(月) 図書委員会・読図会
- 24(木) 常務委員会
- 25(金) 遭難対策委員会
- 28(月) 支部友読図会

―― 1月 ―――

- 4 (月) 支部友委員会
- 5 (火) 学校指導員研修会
- 6 (水) 青年部
- 7 (木) 写真展実行委員会
- 8 (金) 60山ラリー委員会
- 11(月) 登山学校運営委員会
- 13(水) 山行委員会
- 18(月) 図書委員会・読図会
- 19(火) ボランティア委員会

- 22(金) 亀の会⇒中止
- 25(月) 支部友読図会
- 27(水) 常務委員会
- 28(木) 技術向上委員会

―― 2月 ―――

- 1 (月) 支部友委員会
- 2 (火) 県岳連 TNCC
- 3 (水) 青年部
- 5 (金) 古道塩の道
- 8 (月) 登山学校運営委員会
- 9 (火) 支部友ミーティング
- 10(水) 山行委員会
- 11(木) 写真展実行委員会/  
自然保護委員会⇒中止
- 15(月) 図書委員会・読図会
- 16(火) ボランティア委員会
- 17(水) 総務委員会・正副支部長会議
- 18(木) 技術向上委員会
- 22(月) 支部友読図会
- 24(水) 常務委員会
- 25(木) 60山ラリー
- 26(金) 遭難対策委員会

### 会員異動

入会：なし

退会：増田敏夫(16406)坂田弘記(16230)  
原口敬次(15960)日比野重成(16322)  
今田英司(12424)

### 改訂・増補版『インド・ヒマラヤ』発行しました

2015年12月1日・日本山岳会創立110周年記念出版として京都のナカニシヤ出版から出版した初版(657頁)にシッキム、ザンスカール、東部カラコルムの最近情報を大幅に補足し、概念図も加えた改訂・増補版(約720頁)を東海支部設立60周年記念として名古屋の風媒社から3月に出版しました。改訂・増補版の定価15,000円、予約10,000円です。

また、英語版『Indian Himalaya—An Illustrated Guide for Mountaineers』は今年秋に出版予定で、定価は8,000円、予約5,000円です。

改訂・増補版、英語版ともに、申し込みは、

日本山岳会東海支部・担当・星一男宛(E-Mail: [khoshi@katch.ne.jp](mailto:khoshi@katch.ne.jp))。

送金先：三菱UFJ・安城支店(413)・普通口座・口座名・日本山岳会東海支部刊行物編纂委員会・星一男・口座番号0075297

発行所：〒460-0014 名古屋市中区富士見町8-8 OMCビル B1

日本山岳会東海支部刊行物編纂委員会・星一男

編集長 沖 允人

- 20(水) 総務委員会・正副支部長会議
- 21(木) 東学連

# INFORMATION

## 【総務委員会からのお知らせ】

令和3年度支部総会のお知らせ

期 日：5月16日（日） 16：00～

場 所：東海支部ルーム（ZOOM参加も可）

※ 資料配付による書面開催

同封した返信用はがきに議案の承認  
委任する場合は委任状を提出する。

別途総会資料を5月初旬に発送します。

## 【第8回夏山フェスタ開催のお知らせ】

第8回夏山フェスタが下記要領にて開催されます。東海支部も特別協力として全面的にバックアップしていますので、お誘いあわせの上ご来場ください。

日時：6月5、6日（土、日）

場所：ウインクあいち

主催：夏山フェスタ実行委員会

イベントの内容：

- ・山に関するセミナー、著名人の講演会
- ・登山用品メーカー、関連団体、自治体などによるブース出展
- ・東海支部も相談コーナーの出展を予定。

総務委員長 今津英一朗

## 【技術向上委員会からのお知らせ】

『岐阜百秀山』発刊記念講演のご案内

技術向上委員会 清水克宏委員長が、岐阜県の山全 454 山のうち約半数（うち道なき山 46 山）を踏査し、「佳（よ）き山」百山を選び解説した『岐阜百秀山』が5月中旬に㈱ナカニシヤ出版から発刊されます。

これに併せ、以下のとおり記念講演会を開催します。

1 日 時 2021年6月19日（土）16:00～18:00（15:45 開場）

※ZOOM 併用 参加費無料

2 会 場 JAC 東海支部ルーム

電話 052-332-8363

3 申し込み方法 現地参加か ZOOM 参加か希望記載の上、以下アドレスにお申し込みください（感染対策のためルームは先着 20 名まで）。

[imazu.eiitirou@maroon.plala.or.jp](mailto:imazu.eiitirou@maroon.plala.or.jp)

総務委員長 今津英一朗

## 【ボランティア委員会からのお知らせ】

春のブラインド登山を予定しております。

日 時：5月8日（土）8時30分に金山市民会館南出発

行 先：各務原アルプス 各務原遺産の森～金毘羅山、明王山～大岩見晴台

例年、春に行っています、SON 愛知支援登山は、SON と協議の結果、秋に延期となりました。問い合わせ等は、ボランティア委員会まで

[maedaiq@gmail.com](mailto:maedaiq@gmail.com)

ボランティア委員長 前田隆久

## 【写真展実行委員会からのお知らせ】

第17回東海岳人写真展も無事終了いたしました。ありがとうございます。さて、今年も撮影山行を企画しておりますのでご参加ください。

1 開催日時と場所

4月4日（日）苗木城跡ハイク

リーダー 蟹井れい子

4月14日（水）春日井三山

リーダー 坂本 孝

5月14日（金）～15日（土）西穂高岳（独標）

リーダー 井上寛之

6月17日（木）～19日（土）横尾、涸沢

リーダー 井上寛之

2 詳細お問い合わせ先と申し込み方法

は、坂本宛下記メールへお願いします。

[s-skyline@mb.ccnw.ne.jp](mailto:s-skyline@mb.ccnw.ne.jp)

写真展実行委員長 坂本 孝

## 編集後記

東日本大震災から10年、全国各地で追悼式が行われた。御嶽山噴火から6年が過ぎ、昨年9年に追悼式が行われた。

人命の大切さを後世に伝え、安全・安心な暮らしを守ろうとする関係者の努力が心を打つ。

東海支部の活動には、登山とともに自然環境の影響や調査を行ってきた歴史と経緯がある。長きにわたる海外遠征の継続を含めて、現在の委員会活動に活かされている。

今年は、支部設立60周年となる。コロナ禍の日常を受け入れながらではあるが、支部の「創始の心」をもって60周年記念事業を成し遂げた。

星 一男

SINCE 1975

# mont-bell

ウェア・ギアに  
遊び心もそろえて  
お待ちしております

アウトドア用品は、  
機能的なアイテムが豊富に  
そろったモンベルストアへ。



- 岐阜店** 岐阜県岐阜市柳津町丸野3-3-3 カラフルタウン エミノワ内
- 各務原店** 岐阜県各務原市那加萱場町3-8 イオンモール各務原 2階
- 豊橋店** 愛知県豊橋市飯村町西山7-645
- 長久手店** 愛知県長久手市片平1丁目901
- 名古屋店** 愛知県名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパークロフト 6階
- ららぽーと名古屋みなとアクルス店** 愛知県名古屋港区港明2-3-2  
ららぽーと名古屋みなとアクルス 1階
- 新静岡店** 静岡県静岡市葵区講匠1丁目1-1 新静岡セノバ 4階
- ららぽーと磐田店** 静岡県磐田市高見丘1200ららぽーと磐田 1階
- 浜松店** 静岡県浜松市東区上西町985-1 浜松プラザウエスト内
- 長島店** 三重県桑名市長島町浦安368  
三井アウトレットパークジャズドリーム長島 2階
- 鈴鹿店** 三重県鈴鹿市庄野羽山4-1-2 イオンモール鈴鹿 1階
- モンベルルーム御在所店** 三重県三重郡菟野町大字菟野8625  
(御在所ロープウェイ前)

豊橋店・名古屋店・長久手店・長島店では、アウトレット商品も取り扱っています。

【お問い合わせ】  
モンベル・カスタマー・サービス ☎0088-22-0031/TEL.06-6536-5740  
※フリーコールは携帯電話・IP電話からはご利用いただけません。

## 法務相談は行政書士にお任せください!

相続

会計

許認可

### 1時間無料相談

あなたの不安を解決に導きます

遺言書、遺産分割協議書、  
法定相続情報一覧図作成、任意成年後見の相談など



## 西山行政書士事務所 ☎052-961-6506

名古屋市中区丸の内3-21-21丸の内東桜ビル1004  
www.nygs-office.com

久屋大通駅  
徒歩1分

『東海支部報』では、  
広告を募集しております

表4(裏表紙)掲載

※掲載のご希望・お問合せは

room01@muse.ocn.ne.jp まで

\*\*\*\*\* OMC \*\*\*\*\*

## 住いのコンサルタント

# (有) 富士見企画

〒460-0014  
名古屋市中区富士見町8番8号

\*\*\*\*\*

## オフィスに関する悩み事、丸天産業が全て解決します。

ファシリティマネジメントによるオフィス構築や  
デザイン、インテリアやセキュリティなど  
オフィスのすべてが揃っています。

オフィスのお困りごとを丸がかえでお応えいたします。



郵送無料

# Honesty

コンサルティング事例集

オフィスに関するお悩み事の解決事例が載っています。  
お申込みは下記までお電話ください。

## 株式会社 丸天産業

本社 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5丁目10-34  
TEL: 052-241-3686 FAX: 052-241-0457

## 企画・デザイン・印刷



## 株式会社 浅井隆文社

〒461-0044 名古屋市中区東区矢田東1番22号  
TEL (052) 719-0677 FAX (052) 719-0678  
E-mail: info@asai-rbs.co.jp